

愛知県経済の現状と見通し<2013年7月>

1. 総括判断

景気の現状	景気は回復に向けた動き	基調判断の 前月との 比較(注1)	↑	水準 評価 (注2)	☀️ ☁️
当面の見通し	回復に向けた動きが持続する見通し				☀️ ☁️

2. 個別項目の動向

個人消費	基調判断	回復に向けた動き			図表1	名古屋市・百貨店販売額<前年比>
	基調判断の 前月との 比較	↑	水準 評価	☁️		
	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、5月の名古屋市内百貨店販売額は、2007年6月以来の伸び幅となる前年比+9.5%と4か月連続の増加。 ○品目別にみると、主力の衣料品(前年比+3.1%)が2か月ぶりにプラスとなったことに加え、飲食料品(同+5.2%)も3か月連続のプラス。さらに、その他商品(同+27.4%)は株価上昇等を背景とした消費マインドの改善により貴金属や宝石、腕時計などの高級品が引き続き好調であることなどから、高い伸びを記録。 ○一方、6月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、29,370台・前年比▲16.9%と2か月連続の前年比マイナス。 ○車種別にみても、普通車(前年比▲14.2%)、小型車(同▲8.3%)、軽乗用車(同▲4.0%)と全ての車種で二桁のマイナス。 <p>《見通し》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者マインドは引き続き改善基調にあり、高額商品の売れ行きが好調なことに加え、一般商品についても単価上昇の兆し。また、猛暑効果により衣料品、飲食料品、家電などで販売に盛り上がる動きが期待される。 ○乗用車については、前年比でみると、エコカー補助金等の効果で大幅増加となった前年の動きの影響が出るものの、消費税率引き上げ前の購入需要や新型車投入効果などもあり、販売は堅調に推移する見通し。 					

◆5月 名古屋市・百貨店販売額
324億円 前年比+9.5%(4か月連続の増加)
・うち衣料品 前年比+3.1%(2か月ぶりの増加)

図表2	新車乗用車販売台数<前年比>
<p>◆6月 新車乗用車販売台数<含む軽> 29,370台 前年比▲16.9%(2か月連続の減少)</p>	

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↑：上方修正、⇄：据え置き、↓：下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️：晴、☀️☁️：晴～曇、☁️：曇、☁️☔️：曇～雨、☔️：雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話：059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	持ち直し		
	基調判断の前月との比較	➡	水準評価	☀️ ☁️
	<p>《現状》 ○5月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.30倍と3か月連続で上昇したものの、新規求人倍率(同)は1.92倍と6か月ぶりに低下。 ○愛知県の有効・新規求人倍率はともに全国でもトップレベルの水準で推移。</p> <p>《見通し》 ○製造業の生産活動が回復基調にあり、今後の求人動向も好調を維持する見通し。</p>			

図表3 有効・新規求人倍率<季節調整値>

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

◆5月 求人倍率<季節調整値>

- 有効求人倍率: 1.30倍
前月差+0.04ポイント(3か月連続の上昇)
- 新規求人倍率: 1.92倍
前月差▲0.07ポイント(6か月ぶりの低下)

企 業 活 動	基調判断	持ち直し		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☁️
	<p>《現状》 ○4月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比▲2.4%と9か月連続のマイナスとなったものの、減少幅は大幅に縮小。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同▲2.4%)の減少幅縮小が主因。</p> <p>《見通し》 ○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、5月は前年比+0.1%と微増ながら、9か月ぶりにプラス転換。今後の生産は回復傾向が明確化する見通し。</p>			

図表4 鉱工業生産<前年比>

(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」

◆4月 鉱工業生産

- 前年比▲2.4% (9か月連続の低下)
- うち輸送機械 前年比▲2.4% (8か月連続の低下)

輸 出	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☁️
	<p>《現状》 ○5月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+12.3%と5か月連続の増加。二桁の伸びは2か月連続。 ○仕向地別にみると、米国向け(前年比+27.5%)が引き続き好調なことに加え、これまで低迷を続けていた中国向け(同+13.1%)が二桁の伸びを記録するなど増勢に。</p> <p>《見通し》 ○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(5月:前年比+12.1%)が3か月ぶりのプラス。好調が続いていた米国向けは前年比微減となったが、中国や欧州向けが増加に。</p>			

図表5 名古屋港通関輸出額<前年比>

(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

◆5月 名古屋港通関輸出額

9,005億円 前年比+12.3% (5か月連続の増加)